



七宗町社会福祉協議会だより

みんなのふくし

2022 6.20
No.155



福祉委員説明会及び講演会

4月23日(土)サンホーム七宗で福祉委員説明会及び講演会を開催しました。コロナ禍ということもあり、会場を2か所に分け、今年から福祉委員さんとして活動していただける方々に対して、委嘱状を交付しました。2年間よろしくお願いいたします。また地域包括支援センターの鈴木有也氏と加納祐美氏に「認知症の方にやさしい地域づくりに向けて」というテーマで講演いただきました。その終了後、民生委員さんとの連絡会を実施し、地域の見守り対象者の情報共有を行っていただきました。

*この広報誌は皆さんの会費で作られています。



編集・発行

社会福祉法人

七宗町社会福祉協議会

岐阜県加茂郡七宗町神淵10327-1

☎ 0574-46-1294

FAX 0574-46-0007

URL: <http://hichiso-shakyo.jp>

E-mail: sanhoumu@sanhoum.7so.ne.jp



ポータブル蓄電池を 配備しました

共同募金の配分金を受けて蓄電池を1台購入しました。災害時等で停電になった際に、パソコンやスマートフォンなどの電化製品の非常用の電源として活用できるように配備されました。



ふれあいサロン地域茶話会を開催しています

新型コロナウイルス感染症が流行してしまい、実施できなかったふれあいサロン地域茶話会を2年ぶりに5月から再開しました。感染対策をしつつ各地区の公民館を順番に回り開催しています。この茶話会は健康づくりや地域の皆様の交流の場となることを目的に実施しており、今年度は万華鏡を作成します。簡単な作業になりますのでどなたでも気軽にご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

※公民館まで歩いて来られない方は職員が送迎いたします。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

七宗町社会福祉協議会 Tel46-1294 担当 渡辺 政秀

予定日	地区	予定日	地区
10月 3日(月)	上 大 橋	10月28日(金)	万 場
5日(水)	平	31日(月)	分 郷
7日(金)	葉 津	11月 2日(水)	下八日市
12日(水)	杉 洞	4日(金)	中八日市
14日(金)	追 洞	7日(月)	上八日市
17日(月)	本 郷 上		
19日(水)	本 郷 下		
21日(金)	野々古屋		
24日(月)	室 兼		
26日(水)	大 塚		



5月16日牛ヶ洞地区



5月18日間見地区



5月20日樫原地区



5月23日上中切地区



5月25日戸刈地区



5月27日大穴地区



5月30日小穴地区

お知らせ

今号からこの広報誌を右綴じから左綴じに変更しましたので、よろしくお願いいたします。

福祉委員交代のお知らせ

みんなのふくし154号で福祉委員を紹介させていただきましたが、本郷下地区が吉村桂美様から井戸亘恵様に交代されました。

熱中症を予防しよう

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

①暑さを避ける

- 室内では…** ●扇風機やエアコンで温度を調節・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用 ●室温をこまめに確認
- 外出時には…** ●日傘や帽子の着用・日陰の利用、こまめな休憩 ●天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える
- からだの蓄熱を避けるために**
- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する ●保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

②こまめに水分を補給する

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給する

熱中症の症状

- めまい ●立ちくらみ ●手足のしびれ ●筋肉のこむら返り ●気分が悪い ●頭痛 ●吐き気 ●嘔吐 ●倦怠感 ●虚脱感 ●いつもと様子が違う **重症になると…** ●返事がおかしい ●意識消失 ●けいれん ●からだが熱い

熱中症が疑われる人を見かけたら

- 涼しい場所へ** ■エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる
- からだを冷やす** ■衣服をゆるめ、からだを冷やす(特に、首の回り、脇の下、足の付け根など)
- 水分補給** ■水分・塩分、経口補水液※などを補給する ※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

ご注意

- 暑さの感じ方は、人によって異なります
- その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。
- 高齢者や子ども、障がい者・障がい児は、特に注意が必要です
- 熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。
- 子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので、気を配る必要があります。
- のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給しましょう。暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。
- 節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください
- 気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使いましょう。

まーくん体操

介護予防につながる“まーくん体操”のコーナーです。おうちでできる簡単な運動を紹介します。また、七宗町社会福祉協議会のホームページでは“まーくん体操”の動画バージョンも公開しています。一度チャレンジしてみてください。

今回は、腰と胸の運動です。



①足を肩幅に開いて立ち、腕を上上げます。この時、肩甲骨を立てるようにし、5秒間静止します。



②左手を腰に当て、右手をパーにして肩の横に上げます。



③右手を前に突き出し、左ひじを後ろに引っ張り、頭も左にねじります。5秒間静止します。



④次に、左手を前に突き出し、右ひじを後ろに引っ張り、頭を右にねじります。また、5秒間静止します。

※どの運動も、止める時は、しっかり静止しますが、無理のないようにしてください。

七宗町社会福祉協議会ホームページ



日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業とは どのような事業なのでしょう？

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断能力が不十分な方の暮らしの安心をお手伝いする事業です。

次のようなサービスが利用できます。

福祉サービスの利用援助

- 介護保険などの福祉サービスを利用する手続きのお手伝い
- 福祉サービスの利用に関する情報提供、相談援助

日常的金銭管理サービス

- 福祉サービスの利用料金や、医療費、公共料金等の支払い
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 日常生活に必要な費用の支払いや、預貯金の出し入れ

通帳や証書類、はんこ等の預かりサービス

- 預金通帳や印鑑、証書(年金証書、権利証書、契約書など)の預かり。
※ 宝石、書画、骨董品、貴金属などは預かれません。

一人で判断に迷う時や困った時に、いつでも専門員や生活支援員に相談できます。



福祉サービスって何？

介護保険制度などの高齢者福祉サービス、知的障がい者や精神障がい者が利用する福祉サービスなどです。

例えばホームヘルプサービスやデイサービス、食事サービス、入浴サービス、外出支援サービスなどさまざまなサービスがあります。

金銭管理ってどういうことをしてくれるの？

社会福祉協議会が、年金や保護費が振り込まれる通帳をお預かりし、生活支援員があらかじめお約束した生活費をお届けしたり、医療費や福祉サービスの利用料の支払い手続きのお手伝いをします。

どのような人が利用できるのでしょうか？

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などが利用できます。

例えば、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方が対象になりますが、療育手帳や精神障がい者保健福祉手帳を持っていたり、認知症の診断を受けている方に限られるものではありません。施設や病院に入所、入院している方も利用できます。

- ホームヘルプサービスなどの福祉サービスを利用したいが、どうすればいいかわからない方
- 通帳や印鑑をしまった場所がわからなくなったり、公共料金などを払い忘れてしまうなどお金の管理が心配な方
- 年金などの書類が届いても、どう手続きしたらいいかわからない方
- 年金や生活保護費で生活しているけれど、計画的にお金を使えない方
- 大切な証書や印鑑などを自分で管理するのが不安な方

お問い合わせ 七宗町社会福祉協議会 Tel46-1294 担当：井川 英倫子

生活支援・相談センターのご案内

「家計のやりくりがうまくいかない」「はたらきたいけど今一歩踏み出せない」「もう何年もひきこもりが続いている」「借金が多くて返済ができない」等、経験豊かな相談・就労支援員がお困りごとを伺います。

相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください、生活の不安や心配を一緒に解決しましょう。

相談から支援までの流れ

家計相談支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた相談支援、関係機関へのつなぎを行い、早期の生活再生を支援します。

就労準備支援事業

「しばらくはたらいていなかったのが不安」「人とのコミュニケーションに自信がない」「はたらきたいけれど体調に不安がある」など、すぐには就労することが難しい方に、それぞれの状況にあった支援プログラムを作成し、はたらくことへの不安を解消しながら就労に向け支援します。

1 まずは相談窓口へ

相談・就労支援員が相談に応じます。窓口にお越しいただけない場合は、ご連絡ください。町村役場福祉担当課、町村社会福祉協議会にお越しいただいても結構です。

2 お困りごとの確認

お困りごとや不安を詳しくお話してください。就労、家庭、心身の問題など、あなたが抱えている問題を相談・就労支援員が幅広く丁寧に伺います。

3 支援プランの作成

あなたの意思を尊重しながら、これからの生活(自立に向けたプラン案)について一緒に考えます。

4 支援決定・サービス提供

完成したプランに基づき、各種関係機関と連携し、包括的な支援を行います。

5 定期的モニタリング

あなたの状態やサービスの提供状況を定期的に確認し、必要に応じてプランを見直します。

6 安定した生活へ

中濃・飛騨支所

美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎

相談日時 平日(月～金)8時30分～17時15分

ただし年末年始(12月29日～1月3日)を除きます

通話無料 080-0200-2538

ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。すでに子どもを含む市民の死傷者が報告され、市民生活に不可欠なインフラにも被害が出ています。また、紛争の被害を恐れ、多くの人びとが、周辺国(ポーランド、ルーマニア、スロヴァキア等)に避難しています。

この状況を受け、日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、下記のとおり、海外救援金を募集いたします。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

受付期間

2022年3月2日(水)から 2022年9月30日(金)まで

協力方法

ご協力の方法を下記からお選びいただけます。



1. ゆうちょ銀行・郵便局によるご協力

口座番号 00110-2-5606

口座名義 日本赤十字社

※振替用紙の通信欄に「ウクライナ人道危機」とご記入ください。

※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料が免除されます。

(ATMによる通常振込みおよびゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)

※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券が、受領証の代わりとして、税制上の措置が受けられます。

※受領証をご希望の場合は、振替用紙の通信欄に「受領証希望」と明記のうえ、お名前、ご住所、お電話番号を記載してください。

2. 銀行振込・クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easyによるご協力

上記に関しましては詳しくは日本赤十字社ホームページをご覧ください。

また、役場、支所、サンホーム七宗にも募金箱を設置しています。

5月31日時点で19,660円送金しました。



さくらハウス通信

地域の皆さんこんにちは、日頃はさくらハウスに多大なるご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。日に日に夏を感じる今日この頃、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

例年のごとく、前年度の会計報告をさせていただきます。

令和3年度会計報告

収入の部	項目	摘要	金額
	会費	5家族×12,000円	60,000円
	売上	アルミ缶・松明・敬老会等	360,180円
	募金		13,620円
	助成金	七宗町より	1,950円
	利息	めぐみの農協	442円
	合計		436,192円
支出の部	項目	摘要	金額
	仕入	クッキー代	228,150円
	雑費	肥料・レジ袋・芋苗・茶菓子等	27,632円
	合計		255,782円
	次年度繰越金		180,410円

今年もコロナ禍で各種イベントも中止となるような状態で大変申し訳なく思っています。そんな中でも多少の期待を込め、今年もサツマイモの苗差しを民生委員さんのご協力のもと5月29日に行いました。

前号の続きを少しお知らせさせていただきます。町より貸していただいた拠点の外壁・屋根の塗装、倉庫の建築(中学校の自転車置き場の廃材を利用)、畑の土づくり等何回にもわたりさくらハウスに日曜ごとに集まり作業を行いました。そしてついに2004年5月、さくらハウスの出発式を迎えることができました。当日はライオンズクラブのメンバー・上麻生・神測中の生徒さんのご協力もいただき盛大に行えました。さつま芋の栽培はこの当時から続いています。

この続きは次号へ

フリーマーケットの商品は随時受け付けておりますので、よろしく願いいたします。お近くの会員に連絡下されば受け取りに伺います。(福)七宗町社会福祉協議会 サンホーム七宗様にご連絡いただいても結構です。



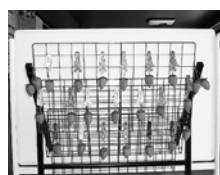
七宗町親子教室

4月の始め、入学や進級と新しい生活にワクワクしていた子どもたちに、思いや決意を聞いて始まった1学期も後1か月ほどになりました。今年は、コロナ感染症で2年間中止になっていたプール学習があるようです。「今年は、プールに入れるよ。プールの掃除をする。」と嬉しそうに話してくれました。子ども達の体験談を聞くのが楽しみです。



*手作りボランティア

虹の会の方々にフェルトでイチゴを沢山作って頂きました。遊びの中で、いちご狩りごっこや、ままごと、数遊びに活用していきます。これで、親子教室では、オールシーズンイチゴ狩りができます。楽しく遊んで、会話が弾むといいですね。



*相談してください

七宗町親子教室では、七宗町に在住する幼児・児童でことばや発達に心配のある場合、その子やご家族にたいして、必要な相談や支援を行っています。

正しく発音できない、言葉がなかなか出てこない、落ち着きがない、集中がなかなか続かないなど、お子さん一人ひとり相談内容は違います。ご家庭で困っていること、または、保育園などの集団生活の中で困っていること、気になること、心配に思われることなどがありましたら、ご連絡ください。

ご家庭の様子など、保護者の方のお話を聞き、お子さんと遊びながら様子を見させていただきます。“今後”を一緒に考えていきましょう。

- 月に2～4回(1週間に1回)、1回1時間程度で、お子さんに合わせたねらいをたて、玩具や遊具を利用した遊び・活動を行っています。

相談をご希望の方は、TEL：0574-48-1881(祝祭日を除く)

月～金曜日午後5時までに、電話でご予約ください。

指導中は、電話に出られないことがあります。留守番電話の対応となることがあります。

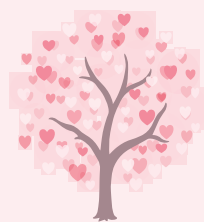
温かい真心をありがとうございます

令和4年4月1日から令和4年5月31日までに次の方からご寄付をいただきました。(受付順)

住 所	氏 名	金 額	住 所	氏 名	金 額
追 洞	井戸 敏成 様	100,000円	大 塚	福井 昭二 様	100,000円
	(有)七宗食品 心商店 様	3,411円	奥 田	山岡 孝昭 様	100,000円
奥 田	渡辺 成夫 様	お茶の葉6kg	上大橋	中島 勝介 様	100,000円
葉 津	長島 政昭 様	52,422円	本郷下	鈴木 信幸 様	150,000円

その他にもサンホーム七宗で使用する洗濯洗剤のご寄付をいただきました。

皆様からの善意は、地域福祉推進のために有効に活用させていただきます。心よりお礼申し上げます。



寄付金ご協力の御礼

日頃より社会福祉事業に温かいご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また町民の皆様、ご家族様からの善意による多額のご寄付を賜り重ねて御礼申し上げます。

寄付金につきましては、ご寄付いただきました方のご意向に沿うよう、社会福祉法に基づいて、「社会福祉充実残額」を算定して、岐阜県に5ヵ年の「社会福祉充実計画」を提出し、社会福祉事業や地域公益事業に活用させていただいております。平成29年度から令和3年度の「社会福祉充実残額」は、買い物支援バス運行、福祉バス購入等に使用させていただきました。

現在、令和4年度から令和8年度の「社会福祉充実計画」を策定中でございます。詳細は、次回にご報告させていただきます。

これからも引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 七宗町社会福祉協議会
会 長 岩 田 和 夫